

若葉区の南西に位置する都川水の里公園を訪ねて

2015/01/30

昨日（1月29日）は、天気もまあまあだったので、都川水の里公園に行ってきました。知らない方も多いかと思います。この公園は、若葉区と中央区の境にあり、アプローチがちょっと分かりにくいのです。ルートマップを辿れば問題なく行けると思います。

【ルートの概要】

小倉台駅～縄文の森～大宮町～都川水の里公園～加曽利じゅん采池公園～加曽利貝塚～小倉台駅

道案内

千葉モノレールの小倉台駅を発って、坂月川にほぼ並行して走る縄文の森の傍らの道を下流に向かって行く。道はやがて国道126号にぶつかる。信号に従って国道を横断し、太田橋を越えて道なりに大宮町へ向かう。大宮町にある千城小学校の前を通過、千葉東金道路の下のトンネルを抜ける。そのすぐ脇を走る細道を辿って行くと、都市緑化植物園が左手に見える。細道が京葉道路と交わる交差点を京葉道路の上り方向に進むと、すぐ右に入る道路があり、その突き当たりが目指す公園である。



都川水の里公園にある自噴井（じぶんせい）。「太郎」という名前がついている。「なぜ？」と思うのですが・・・これは推察ですが、千葉市で最大の水量を誇る（日量240～170トン）といわれているから、利根川が「板東太郎」と呼ばれるのと同じことではないか、と。



自噴井太郎は、傍らにある水田の水源になっている。



この公園の奥にある川は「支川都川」（しせんみやこがわ）。



「支川都川」は、少し先のところで都川（本流）に注ぐ。

都川水の里公園からの帰り道は、京葉道路沿いの道を国道126号まで進み、国道126号を東へ、そしてトヨタの前の信号のある交差点を左折して、加曾利中学を回り込む形で進み、加曾利じゅん菜池公園の傍らを通り、小桜橋通りに出たら右折して坂道を上り、信号機のあるやや複雑な交差点を左折して道なりに進むと加曾利貝塚の正門の前に出る。正門の前の細道を進み、モノレール通りに出たら右折して、モノレール沿いに進むと小倉台駅に着く。



加曾利じゅん菜池公園



加曾利じゅん采池